

令和3年度第1回天童市教育委員会について（報告）

日 時 令和3年4月20日（火）午前9時59分
～午前10時39分

場 所 教育委員会 第一会議室

出席委員 相澤一彦教育長、工藤昭広委員、村山晴香委員、
松村昌子委員、大内あゆ子委員

出席者 武田文敏教育次長兼教育総務課長、町田真裕学校教育課長、
矢萩茂生涯学習課長、大沼敦学校給食センター所長、
事務局（教育総務課職員）

議 事

- 議第1号 天童市教育長の営利企業等の従事並びに職務に専念する義務免除について
- 議第2号 天童市教育研究所運営委員会委員の委嘱について
- 議第3号 天童市理科教育センター運営委員会委員の委嘱について
- 議第4号 天童市学校評議員の委嘱について

<教育長あいさつ>

委員の皆さんおはようございます。

令和3年度の当初にあたり、市内小中学校を訪問し訓示をさせていただきました。

本市の子どもたちは、特に根拠を明確にして論理的に伝える力について課題がありますが、これからますますこの力を付けていくことが重要になるのではと考えております。その際に、大切にしていきたい次の3つの視点について学校に訓示を申し上げました。

1点目に、論理的な思考を妨げないように、一人ひとりの差異が持つ価値を見逃さないようにしていきたいこと。

2点目に、思考は言葉によって行い、そして言葉によって表現していきます。豊かで論理的な言葉を用いることで、子どもたちの見方、考え方をさらに深めていきたいこと。

3点目に、学校のICT環境が劇的に整備され、一人一台のタブレット端末と高速ネットワーク環境が整いました。この環境を活かし、情報を主体的に選択し活用する力、さらには物事を多面的、多角的に吟味し統計的な分析を持って判断する情報活用能力を伸ばしていきたいとお話ししました。

次に、新型コロナウイルスの状況は、変異株ウイルスが流行の兆しを見せているなど、次のフェーズに入りかけているのではと感じています。学校でも、それを踏まえた警戒が必要であると考えております。新しい教育を豊かに進めること、新型コロナウイルスの対応と両輪をそろえていくことを大事にしてい

きたいと思っております。

結びに、洪沢栄一の論語と算盤という本の中に、趣味を大事に、という言葉が出てきます。読んでみると趣味とは、工夫すればもっと面白く、楽に、上手にやれるという意味のようです。いろんなどころから工夫して、教育委員の皆さまからも明るさと前向きな誠実さをいただきながら、今後とも力を合わせて頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いたします。

< 議 事 >

議第1号 天童市教育長の営利企業等の従事並びに職務に専念する義務免除
について

<可決する>

審議経過 質疑なし

議第2号 天童市教育研究所運営委員会委員の委嘱について

<可決する>

審議経過 質疑なし

議第3号 天童市理科教育センター運営委員会委員の委嘱について

<可決する>

審議経過 質疑なし

議第4号 天童市学校評議員の委嘱について

<可決する>

審議経過

工藤委員 : 第二中の評議員ですが、役職できているのでしょうか。それとも人物としてということでしょうか。

学校教育課長 : 第二中の方で学校評議員を任命するに当たって、次のような基準で推薦したと伺っています。まず、一つが第二中の学区内、学区外からそれぞれ推薦すること。そして、男性、女性両方が混ざること。そして幅広い年齢層にすることとの基準で選んでいると伺っています。

松村委員 : いろんなジャンルや年代の方と、さまざまなどころから意見を聞くために学校評議員というのは選出されると思うのですが、男女問わず人間を平等にピックアップしてご意見をいただくという考えから、もう少し女性の評議員の数が増えてもいいのではないのでしょうか。感性も違うし、面白い意見もでてくると思います。より学校を良くするためには、そういうところもプラスして考えていただけるといいと思います。

学校教育課長 : 性別が半々に近い数で、いろんな年齢層や職種などの方から入ってもらうことが、学校にとってプラスになると考えているので、そういう方向で少しでも改善していけるように、これから各学校に声掛けをしていきたいと思えます。

教育長 : その他に議事は無いようですので、第1回教育委員会会議を終了します。